

ったかというのを、国内外のお客様にしっかり見せる仕組みを今から、もう既につくってあると思いますけども、さらにその辺に力を入れてやるべきだというふうに思います。教育長、その辺についていかがですか。

○議長（堀江 政武君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 議員さんがおっしゃられるとおりで私も思います。いろんな難しい問題もありますので、教育委員会としては、先ほど提言がありました共同研究であるとか、記念誌の発刊に向けて韓国のほうを訪問をして、そのシステムづくりに向けて動き出したいというふうに考えております。

○議長（堀江 政武君） 5番、淵上清君。

○議員（5番 淵上 清君） しっかりやってください。

あとは、関連の質問で春田議員が行いますので、この世界遺産登録、博物館、くどいようですが、対馬市の再出発の時期と捉えて、事業展開すばらしいものを企画される、今から企画しとかんといけませんので、くどいようですが、宗家文書の中の朝鮮通信使絵巻の展示できない状況にあるのを、ほたっとくようなことじゃいけませんよ。しっかり、歴民だけに言うんじゃないくて、やっぱ県の文化財課、あるいは、どうかしたら市長、知事とでも折衝して、対馬の、ある意味、この展示の宝ですよ。それが偽物を見せるなんて、そんな恥ずかしいことはされませんから、今からしとかんと間に合いませんよ。しっかり取り組んでください。

私からの質問はこれで終わります。ありがとうございました。

○議長（堀江 政武君） 清風会、1番、春田新一君。

○議員（1番 春田 新一君） 皆さん、こんにちは。清風会所属の春田新一でございます。先ほどの代表質問に続きまして、関連質問を1点させていただきます。

まず、冒頭に、先ほども新政会のほうから何名かの同僚議員のほうからありました火災についてですね。本当に冬になれば火災が多く出るわけですが、やはり本当に亡くなられた皆さんの御冥福をお祈りしまして、また、我々この防災・減災について学びながら、今後も市民一体となって取り組むところは取り組んでいかなければいけないのかなというふうに思いますので、消防長、その辺をまたよろしく願いをいたします。

それでは、私の質問に入らせていただきます。

先ほど代表者のほうから質問がございました。私のほうは、運営管理の方向性についてということで1点お尋ねをしたいと思います。

この対馬博物館、仮称ではありますが、平成22年から取り組みがあつて、現在28年、設計が終わるような状況まで来ております。2019年の開館に向けて建設も進むわけでありまして。非

常に対馬の宝として、この博物館をみんなで支えていかなければいけない。先ほど淵上代表も言われましたように、難しい問題があるんだと。そこをクリアしながら、対馬の宝として市民上げて、また、全員で協力をしながらつくり上げて、開館をしていかなければいけないというふうに思ったところでございます。

また、この運営管理についても、総務文教常任委員会で非常に長い時間かけて議論が交わされたというふうに聞いております。また、その議論を交えて全員協議会も開かれ、運営費について全員で協議をされたという経緯もございます。

その中で、一番議会として承認が得られたのは、ふるさと納税ということで、今の比田勝市長はふるさと納税を推進していくんだということで、和解ができたのかなというふうに私個人的には考えておるところでございます。そういうような捻出をしなければいけない博物館でありますので、これが収入で、入館料でやっつけられる問題では私はないと思っております。

そのような中、我々清風会は、11月3日と4日、政務調査ということで、大分県市立歴史博物館を——これは宇佐市にあります。そこを調査と見学に行つてまいったわけではありますが、この例をとりますと、なかなか難しい運営管理であります。収支も非常にばらつきがあるというような状況であります。また、長崎市の歴史資料館におきましては、収支は黒字という、1年間トータルしてみますと、黒字というデータが出ております。これはなぜかなというと思いますと、やはり長崎のほうでは、駐車場、あるいは、ミュージアム、あるいは、飲食をするところが一緒になってるんですね。そのようなところで、全体の運営が黒字ということでもあります。非常に入館者数だけの、入館料だけの運営というのは、私は厳しいものがある。これは全国的にそうだと思います。

しかし、我々島民としては、知恵を絞って、このでき上がる博物館の宝を何とかして運営ができるように、一緒にやっつけなければいけないのかなというふうに、私は政務調査で感じたところでございます。

この運営につきまして、まだ今建設も始まっておりませんが、2019年には開館予定というような報道もなされております。市長の意見をここで、運営管理についてどのような思いを持っているのか。ひとつ答弁を願いたいと思います。よろしく申し上げます。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 春田議員の御質問にお答えしたいと思います。

昨年の12月議会でも御審議いただきました博物館計画につきまして、運営の試算では、対馬市が直営をする形で説明をしている段階でございます。この対馬市の博物館は、その運営については、公の施設でもありまして、指定管理者制度も含めて、その方法を検討していく必要があるかと考えているところでございます。

そこで、社会教育施設であります公立の図書館や博物館でも指定管理者制度の導入は可能となっておりますが、数字で見ますと、博物館における指定管理者制度の導入状況は、全国の公立館全体では27%、対馬市のような人口規模ですと20%、総合博物館系で15%程度のようにありまして、他の公の施設と比較いたしますと、その導入率は高くないようであります。博物館における指定管理者制度の導入、運用の検討を行う際には、博物館が有する特徴を十分に踏まえる必要があります。

そこで、現在、設計業務と合わせまして、管理運営についても検討をしながら、管理運営基本計画を作成する予定といたしております。

そこで、管理運営の方法について検討を行い、ある一定の方向を定めていきたいというふうに考えておりますが、この対馬市博物館は、新設の施設であること、そして、離島という地理的位置などの来館について不確定な要素も多いことから、対馬市が直営のもと、当初は直接に管理運営を行いながら、ノウハウや実績を鑑みながら、指定管理者制度への移行を検討していくのも一つの方法ではないかというふうに考えているところでございます。対馬の観光施策、交流人口の拡大等、さまざまな効果を期待する施設でございますので、今後とも維持管理等につきましても、最も効果的な方法を検討してまいりたいというふうに考えているところでございます。

○議長（堀江 政武君） 1番、春田新一君。

○議員（1番 春田 新一君） どうもありがとうございました。

この運営管理について、指定管理、あるいはまた、部分的には委託というような形になってくるのではないかとこのように思います。これは今、対馬の中でも、指定管理、委託、いろいろな方面でなされているわけですが、この博物館については、指定管理というのは、やはり市のほう、行政のほうで運営をしていって、ある程度、これは2019年開館予定ですから、そこら辺から3年か5年は市のほうで運営をして、データを出して、指定管理を出すのが妥当じゃないかなというふうに、今の市長の答弁では、私はこう考えておりますが、やはり何もかもが指定管理というわけにはいかないというふうに思います。そこら辺を教育委員会、行政、それと、県とですね。先ほど会長も言いましたように、縦だけじゃなくして、横の行政割りをしていって、そのような方向で運営をしていかないと、すぐに指定管理というわけには、私はこのものについては難しいというふうに思います。データをある程度出して、それから、指定管理を求めていくというのも大事じゃないかなというふうに思っております。

非常に、今、市長が述べられましたように、離島と本土というのは、博物館の入館者数が全然違います。また、特にこの7月、8月は、どこの博物館も多いわけですね。夏休みを利用して博物館にということで、団体になってくるわけですね。そういうようなことで、そのときの入館者数は多いわけですが、ほかの2月、11月というのが極端に低いわけですね、どこも。そ

うというようなことで、対馬はそういうことがないように、離島の大きな対馬の宝としてこれを守り続ける、運営し続けることも必要ではないかというふうに思っています。私は帰ってきたところでありますが、なかなか博物館、金を生み出すのは難しい。しかし、これには、やはり常設だけじゃなくして、特別展とかそういうものを試みて、いろいろな入館者をふやす努力というの必要であろうというふうに思います。これから開館に向けて、皆さん一緒になって取り組んでいかなければいけない、宝をきちんとしたものをつくっていかねばいけないというふうに思います。

チャイムも鳴っておりますので、時間は少々ありますが、私の質問はこれで、まあ市長の意向がわかりましたので、終わらせていただきますが、最後に、市長、花言葉で、ヒマワリの花言葉があります。「あなたはすばらしい」と言われるように、市民から言われるような活躍を今後もしていただきたい。私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（堀江 政武君） これで清風会の会派代表質問は終わりました。

○議長（堀江 政武君） 昼食休憩とします。再開は午後1時からとします。

午後0時01分休憩

午後1時00分再開

○議長（堀江 政武君） 再開します。

報告します。湧上清議員より早退の届け出がっております。

午前に引き続き、会派代表質問を行います。会派つしま、12番、齋藤久光君。

○議員（12番 齋藤 久光君） 皆さん、こんにちは。午前中に引き続き、よろしくお願いたします。

会派代表質問で、会派つしまの代表、齋藤久光でございます。

質問に入ります前に、先日から島内建物火災が2件も発生をし、それに昼のテレビニュースの中で、昨日の火災では、殺人放火の疑いで調査中との報道がなされました。この件については、本当にあってはならない事件と思います。4名の尊い命が亡くなりました。御冥福を心からお祈り申し上げますとともに、御遺族様へ心よりお見舞い申し上げます。なお、火災で消火に当たられました消防署並びに地方分団の皆様には感謝を申し上げる次第でございます。

それでは、通告に従いまして、質問に入らせていただきます。

私は、昨年制定になりました国境離島新法、平成29年4月より施行される有人国境離島新法の制定に伴う対馬市の取り組みにということで質問をいたすわけですが、午前中にこの件については、新政会より4名の方の関連質問が行われました。重なるところもあるかとは思いますが、市民にとってはわかりやすいこともあろうかと思っておりますので、市長の答弁もどうぞよろ